

IPO銘柄 アサンテ (6073・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6073	100株	公募: 100万株 売出: 160万株 (OA39万株)	900円~ 930円 (8.5倍)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券

■ 日程



シロアリ防除関連の施工中心に、総合ハウスマンテナンスサービスを提供

■ 事業内容

シロアリ防除関連の施工を中心に、家屋補強、基礎補修などリフォーム事業を手掛ける。主力は木造家屋をシロアリ被害や腐朽から守るため、シロアリ防除、床下などの換気システムの施工を行うHA（ハウスマネジメント）事業。シロアリ防除に加え、家屋補強システムや基礎補修の施工など総合ハウスマンテナンスも推進。このほか、太陽光発電システム、各種リフォーム工事など、家屋に関する幅広い事業も展開する。TS（トータルサニテーション）事業では、おもにオフィスビル、ホテル、飲食店など法人物件を対象とした害虫、害獣の防除を手掛けている。13年3月期3Q累計の売上高構成比はHA事業が98.2%、TS事業が同1.8%。

■ 特徴

各地のJAと連携して事業展開していることが、信頼性や営業力の強化につながっている。また、施工後5年間の保証期間中は年1回の点検を実施しアフターサービスに取り組むほか、シロアリ防除の薬剤の有効期間が5年であることからリピーターが多い。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年3月期の連結経常利益は前期比5.1%増の19億9,800万円を計画。前期は東日本大震災発生にともなうリフォーム需要増が収益を押し上げており、今期はその反動が出ている。人員増強、広告宣伝費の積み増しも利益成長率が鈍る要因となっている。

■ 定性分析

サニックスの創業者と同社創業者は兄弟であり、同社株の2.63%をサニックスが保有。既存市場でサニックス株が信用需給などを材料に値上がりしていることも刺激材料となる可能性がある。人気業種ではないが、話題性のある案件として注目を集めている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約27.8億円。ベンチャーキャピタル保有株はなく、特段の需給不安はない。通常なら人気化しづらい東証2部上場案件だが、サニックスとの関係や好地合いに支えられて初値買いを集めそうで、下値不安は乏しそうだ。（小泉健太）

■ 類似企業

アサンテ(6073・東証2部)	予想PER8.5倍 (仮条件上限)
サニックス(4651・東証1部)	予想PER9.9倍
ニッソー(1738・名証2部)	予想PER8.3倍

■ 引受証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほ証券、SMBC日興証券、東洋証券、いちよし証券、岡三証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年3月期(実績)	9,657	3.8	1,301	44.2	670	35.4	63.9	12.0
12年3月期(実績)	11,199	16.0	1,900	46.0	1,005	50.0	95.7	15.0
13年3月期(会社予想)	11,879	6.1	1,998	5.1	1,146	14.1	108.9	20.0

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年3月期	10,500,000	7,401	4,033	600	384.1	54.5	17.9
12年3月期	10,500,000	8,820	4,913	600	467.9	55.7	22.5

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ムネマサ	3,750,000	32.93
2	宗政 誠	3,206,425	28.15
3	アサンテ従業員持株会	848,175	7.45
4	渋谷 健一	531,000	4.66
5	宗政 伸一	450,000	3.95
6	サニックス	300,000	2.63
7	宗政 ヨシ	225,000	1.98
7	宗政 和美	225,000	1.98
9	朝日生命保険相互会社	120,000	1.05
10	三菱東京UFJ銀行	90,000	0.79

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	宗政 誠
専務取締役	渋谷 健一
常務取締役経営企画室長	飯柴 正美
取締役経理部長	亀山 彰
取締役営業本部長	相原 和夫
監査役(常勤)	犬飼 由喜夫
監査役	櫛田 泰彦
監査役	黒澤 誠一

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。